

## 平成26年度事業実績報告

社会福祉法人こすもすの会

福祉医療機構（WAM）がこのほど発表した「2013年度障害福祉サービスの経営状況について」で障害福祉サービス事業所の4分の1が赤字だと分かった。また、職員1人の年間人件費は全体で411万円。日中活動系は375万円だった。赤字施設は利用者の確保が十分でない一方、人員配置基準により定員に応じた従業員を置く必要があるため、結果として人件費を低く抑えざるを得ないという状況が推測される。

こすもす作業所の就労継続支援B型事業、就労移行支援事業、日中一時事業登録者は65名を数え、1日平均33名の方が通って来られ稼働率は良く、新規利用者が13名、退所者が11名となり以前の体系とは違い学校の様に毎年新規受け入れ者を迎え入れ卒業生を排出している状態が今年度も同じ傾向であった。法人の収入については前年度と大きな違いはなかったが支出の削減に努め積立金は前年対比95%となった。作業工賃については東日本大震災の影響もあり、主力である（株）阿部製作所さんの作業が依然として少なく施設内での作業は激減しているが事には変わらない。大豆の選別等の作業は忙しく納品が間に合わない状況が続いており作業が途切れることは無く、施設外の清掃作業（市内事業所の作業）継続的に取り入れている。工賃全体で見ると施設内での作業収入が58%、施設外での作業収入が42%と施設内での作業収入が少ない分を施設外での作業で補っている。

就労移行支援事業は、定員6名のところ26年度は2名の方が就職に結びつき、法人全体で4名の方が就職された。地域活動支援センターⅢ型については1日平均利用者数は約5人で、特に電話相談件数が多く1年間に400件近い相談件数となった。

松波にある、グループホーム・ケアホームこすもす荘については、12室満員の利用であり、体調を崩し入退院をされる方がなく、大幅な修繕も無かったため事業計画どおりの収入となった。

クリーンセンター柏崎での資源物中間処理業務については、3年経過し順調に作業が進んでおり障害者雇用で新たに4名の方を採用した。

1. 法人及び施設の運営状況

2. 施設の利用状況

- ① こすもす作業所 ② グループホーム・ケアホームこすもす荘 ③地域活動支援センターⅢ型